



ZOOM セミナー

ヒト iPS 細胞の研究の現状と未来

これまでゲノム問題検討会議ではBMI（ブレイン・マシン・インターフェース）、脳オルガノイド研究について取り上げてきました。頻りにネット上にiPS細胞の活用情報が上がってきますが、脊髄損傷などで失われた機能を、iPS細胞を用いた再生医療で神経回路を修復したり、患者自身の細胞から作ったiPS細胞で脳のモデル（脳オルガノイドなど）を作り、その神経信号をBMI技術で解析することで、パーキンソン病などの原因究明や新薬開発が進められています。

今回ご講演をお願いした京都大学iPS細胞研究所(CiRA)の高島康弘教授は、ヒトiPS細胞、特に「ナイーブ型（未分化な状態）」の多能性幹細胞の樹立と、それを利用したヒト初期発生の解明において世界をリードする研究者です。ナイーブ型細胞の研究によって人間が受精卵からどのように体が作られているのか、その最初期のプロセスを再現することが可能です。ナイーブ型細胞を用いると、胎児になる細胞だけでなく、胎盤などの支持組織へも分化誘導しやすいため、人工的な「擬似胚（ブラストイド）」を作って着床前後の現象を研究できます。

iPS細胞の活用によって未来の人間にどのようにかかわってくるのか皆さんと考えてみたいとこのセミナーを企画しました。特に、人間の尊厳も含めて倫理的に多方面から議論することで将来この技術をきちんと統制しながら有効活用出来るのかを考えていきたいと思えます。

記

- 日時：2026年5月10日（日）14時～16時30分
- 講師：高島康弘さん（京都大学iPS細胞研究所教授）
- コメンテーター：美馬達哉さん（立命館大学先端総合学術研究科教授）
- 司会：島藺進さん（東京大学大学院人文社会系研究科名誉教授）
- 参加費 Zoom代 1000円 後日期間限定の逃がし発信あります。
- Zoomの方の事前申込み：Zoom参加希望者は下記必要事項明記の上5月8日まで申込みください。
申込み時の必要事項は名前、職業、電話番号、メールアドレス
申込み先 E-mail：jreikochan@yahoo.co.jp
[またはこちらから→https://forms.gle/2xd6eze8pgtWDajF7](https://forms.gle/2xd6eze8pgtWDajF7)
アドレスに返信確認メールをお送りします。アドレスは間違えないよう返信時確認ください。
Zoom参加の方は事前に下記へお振込みください。
- 【郵便局からのご送金】の場合 口座番号 10290-70860881
- 【他行からのご送金】の場合 ゆうちょ銀行 028店（ゼロニハチ）普通 7086088 口座名義 神野玲子
- 当日の詳細案内：Zoom参加申込みされた方には5月8日頃にZOOMのURL等をご案内いたします。
- 主催：ゲノム問題検討会議 <https://www.gnomeke06.net/>
- 問い合わせ：090-2669-0413 神野玲子

